

税理士法人 アンビシャス・パートナーズ

税理士業

- 所在地** ● 札幌市厚別区厚別東4条4丁目9番1号
電話番号 ● 011-398-4736
代表者 ● 代表 森下 浩
従業員 ● 13人
資本金 ● 150万円
事業内容 ● 税務、会計業務、コンサルティング業務、各種セミナー業務
URL ● <http://agri-ambitious.tknf.com/>



テレワーカー
丸山 友香子さん

職場全体でスケジュールを共有



税理士法人 アンビシャス・パートナーズで顧客の取引記録を会計ソフトへ入力する記帳代行、決算業務を行っている丸山さんは、2017年12月からテレワークを始め、平均して月に8回程度テレワーク勤務をしています。

会社では、会計事務所向けのクラウドサービスの機能の1つとして、スケジュール表を活用しており、社員全員がスケジュールを共有しています。在宅勤務が職場へ出勤するかといったことも、当日の出勤時間前までの申請により、切り替えることができます。



代表
森下 浩さん

日々社員から意見を聞き、テレワークの方法を改善

北海道の農業を専門とする税理士法人 アンビシャス・パートナーズの代表を務める森下さんは、税理士事務所の設立当初からテレワークに力を入れてきました。社員の働き方は、完全在宅勤務、在宅勤務と職場勤務を織り交ぜる、子どもの夏休み・冬休みといった時期に応じて在宅勤務を行うなど様々な形態となっています。今回育児等の関係で新たに2名の社員が在宅勤務への対応が必要となり、新規雇用の確保が難しい現状で、能力のある社員の雇用を継続するため、テレワーク環境を拡充しました。

テレワークは以前から導入していたため、ノウハウは社内でも蓄積されてきていますが、森下さんは「社員の声を聞き、意見を拾い上げて、日々改善を図ってい

顧客先に訪問する仕事も多く、セキュリティを確保したうえで、在宅勤務と顧客先回りを両立するため、社内のネットワークシステムにアクセスできる環境を整えることに加え、ポータブルスキャナなどによりモバイルワークの環境構築を行いました。

テレワーク勤務という選択肢があることにより、急な子どもの体調不良などでも、預かり先を確保する必要がなくなり、自宅でお子さんの様子を見ながら働けることから、心の余裕ができた丸山さんは話します。

今後も、職場の同僚とコミュニケーションをとりながら、在宅・職場での勤務を織り交ぜて働いていきたいと語っていただきました。

る」と話します。

テレワーカーからの意見で、在宅勤務を始めて困ることとして事務所内の動きが見えにくくなる、顧客との接点がなくなることが挙げられました。そこで、テレビ会議システムを活用して毎日の朝礼で定期的に情報共有を行うことに加え、最近取り入れた仕組みとして、LINEのグループトークを活用して、顧客から書類が届いたことなど事務所内の出来事についての情報を随時共有できるような工夫をしています。

職場で働くメンバー、在宅で働くメンバーが気持ちよく働くため、離れた場所で働いていてもお互いの実情が理解でき、それぞれの苦労についてもわかりあえるよう、情報共有をこまめに行うことに努めています。

テレワーク導入の概要

- 使用したPC** ● ノートパソコン
ソフト等 ● My Komon（会計事務所向けのクラウドサービス）、TKC モバイルサービス
導入機器 ● スキャナ、インカム
通信手段 ● クラウド上のスケジュール表、TV会議（毎朝）、LINEのグループトークなど
業務内容 ● 顧客の取引記録を会計ソフトへ入力・集計、決算業務など
実施頻度 ● 月に6～8回程度